

一台1人真剣集中が、真のプロフェッショナルを作る!

～キーパー技術コンテスト予選会で150点以上が続出した理由～

今年4回目を迎えた「2017年 キーパー技術コンテスト」予選会が終了しました。例年の出場者人数を更新し、大勢の選手たちによるハイレベルな戦いが繰り広げられました。今回の予選会で、特筆すべきは170点満点中150点以上を獲得した選手が続出したことです。例年になかった伸び率で増えており、今後ますますコンテストのレベルは高くなっていくことが予想されます。なぜ今年、150点以上を獲得する選手が増えてきたのでしょうか。昨年からの多くの店舗の方々が意識されはじめた「一台1人真剣集中」という精神の浸透が、大きな要因の一つと考えられます。



ONE CAR ONE PROFESSIONAL

よってたかってやってんじゃない!!

真剣集中

「自分がお客様の車を絶対に完璧にキレイにする」という責任感が高得点につながる

なぜ「一台」を「1人」で集中して施工することが、150点以上という高得点獲得につながるのでしょうか。1台を1人で何台も施工すれば、経験値が高まっていき、ほとんどの人は上達していくのは当たり前です。しかしそれでお客様に喜んでもらえる、満足してもらえる品質が必ず実現するかといえばそうではありません。いくらテクニックを持っていても、お客様の望むキレイを実現できなければ高品質な施工をしたとは言えないからです。

では150点以上獲得できるプロフェッショナルになれるかなれないかの差は何か。それは一台を1人で施工することで「自分がお客様の車を絶対に完璧にキレイにする」という責任感を持てるどうかなのではないでしょうか。

複数での分担作業は、効率も品質も低下する

例えば、お店が突然暇になり、人手が余っているから一台の車を複数のスタッフで分業したとします。分担して作業をすれば、効率的に早くキレイに施工できると思われがちですが、キーパーコーティングの場合は逆です。生産性を低下させ、必ず品質の低下をもたらします。人手が余っているからといって作業を複数で分担すると、同じ部分を何回も触ってしまったり、無駄なおしゃべりをして、施工に集中できなくなります。最悪の場合、お客様の来店や電話などにさえ気づかないという事態を引き起こすこともあります。その結果、ムラができてしまい、作業漏れや仕上げ確認漏れが発生し、やり直すために時間がかかってしまい、効率も品質も落ちてしまうこととなります。それは誰がサボったというわけでもなく、ただ1人ひとりの責任感が分散され、キレイにすることに集中できなくなってしまうためです。

責任を持って「1人でやること」で、品質の高い施工が実現する

キーパーコーティングの施工は最初から最後まで「1人でやること」をルールとしています。キーパー施工マニュアルもすべて「1人でやること」を前提として作られています。キーパーコーティングは、洗車～爆ツヤ～ダイヤモンドキーパーケミカル塗布・拭き上げ～レジンケミカル塗布・拭き上げ～拭き残しの確認・ムラなどの確認～お引渡し、そのすべてを「1人でやること」として集中し、責任を持ってはじめて品質の高い施工が可能になります。

キーパー技術コンテストは、回を追うごとに技術レベルは高まり、そのハイレベルな位置で均一化されていきます。そうなるナンパーワンを勝ち取るには、何度も何度も、1台を1人で真剣に集中して施工し、経験値を上げながら、「お客様の車を絶対にキレイにして喜んでほしい」という想いと責任感を持続させることが重要なポイントとなるのではないかと思います。

消雪パイプから出たサビ水で付いた茶色の水垢をさっぱり取る!

「W.D.C. 消雪パイプ錆クリーナー」

消雪パイプから出ている地下水には多量の錆が含まれています。道路を茶色くするほどのこの水がタイヤで巻き上げられ、ボディに付着し、茶色く変色するのです。

この茶色の汚れは、W.D.C.によって水溶性になり、簡単に除去することができます。



10ℓ
¥9,900
(税別)

作業手順



茶色い水垢部分に消雪パイプ錆クリーナーをスプレーし、5～10分放置。



水で洗い流す。



爆白ONE+キーパークロスでかき取る。



塗装を傷める茶色の汚れも...



さっぱりキレイに!!

洗車、コーティング
プラス
20分